

スペイン ワイナリー外装に発色チタンを受注

新日鉄は、スペインの高級ワイン製造会社マルケス・デ・リスカル社より、ワイナリー・アネックス（別館）の外装用発色チタン12トン（約2,000㎡）を受注した。世界的に著名な建築家フランク・ゲーリー氏の設計に

よるもので、外装にはシャンパンゴールドとピンクの発色チタンが採用された。発色チタンでは世界最大の物件である九州国立博物館の屋根（50トン、17,000㎡）に続いての本格受注となる。チタン事業部では、今後とも、

チタン固有の色調を活かし、芸術性の高い建築物への適用拡大を図ることとしている。

お問い合わせ先
チタン事業部
TEL 03-3275-7994



完成模型

ボルト事業統合に向けて基本合意

日鉄ボルトン(株)と中山三星建材(株)は、事業基盤の一層の強化が不可欠と判断し、両社のボルト

事業を統合することで基本合意した。より効率的な生産、研究、営業体制を確立し、強靱な

事業基盤の実現により、お客様のニーズと負託に応えていく。

お問い合わせ先
広報センター
TEL 03-3275-5021

「新日鉄・北九州環境技術センター」を設立

プラント・環境事業部と八幡製鉄所は、北九州市のエコタウン実証研究エリア内に新日鉄・北九州環境技術センターを設立する。これは「北九州地区」を当社の環境ソリューション事業展開の基盤地区として位置付け、環境関連の実証的研究開発

の拠点作りと、環境産業育成の活動の積極的支援を目的とするもの。2004年7月末に完成・開所の予定。

環境関連のテーマを幅広く探求する事をねらい、国内の大学・研究機関・企業とも連携して様々なテーマに取り組み、開

かれたセンターとして運営を行う。

お問い合わせ先
環境ソリューション事業センター
TEL 03-3275-7994
八幡製鉄所 総務部
開発企画グループ
TEL 093-872-6886



「バイオダイエット」 公共下水道分野への本格的適用に向け始動

新日鉄、環境エンジニアリング(株)の両社は、共同開発した余剰汚泥減量化システム「バイオダイエット」の公共下水道分野への本格的適用に向け、営業活動を開始した。バイオダイエットとは、下水等の有機性廃水を

「活性汚泥処理」する際に発生する余剰汚泥大幅に減量化させる技術。

すでに、本システムは食品、化学、製紙等の民間企業に約30件と、国内トップクラスの納入実績を誇っている。汚泥処理・

処分に苦慮する自治体からは決定打として期待されており、10億円/年程度の売り上げを目指す。

お問い合わせ先
プラント・環境事業部水処理施設部
TEL 03-3275-6234



八幡 / 製鉄工場、焼結鉱生産量累計3億トン達成

八幡製鉄所製鉄工場は2月5日、焼結鉱累計生産量3億トンを達成した。八幡における焼結鉱製造は昭和4年10月洞岡のAIB式焼結機に始まり、74年と

4カ月の歳月を経て3億トンに到達した。

八幡・製鉄工場ではこれまで培われた伝統を基盤として、常に世界最高水準の新しい技術を

積み重ね、戸畑第4高炉の安定操業を支えていく決意を新たにしている。



新日鉄コンサート

4月放送予定 毎週日曜日22:30~23:00 ニッポン放送

- 4日 美しい日本の歌
清瀬保二：やはらかに 別宮貞雄：さくら横丁ほか
波多野睦美（メソソプラノ） 野平一郎（ピアノ）
- 11・18日 プロミシング アーティストシリーズ第104
レイ・ゲーラ：そのあくる日
レオ・ブローウェル：エリのためのパッサカリアほか
大萩康司（ギター）
- 25日 YBPストリングオーケストラ
バガニーニ：ヴァイオリン・コンチェルト第一番弦楽合奏版

一部地域により、放送局・放送時間が異なる場合があります。

紀尾井ホール

4月主催公演情報から



- 20日 第17回「尺八演奏家の邦楽作品」
解説：上野 晃
曲目・出演：野村峰山作曲「ラスコーの壁画」(1980年)
(尺八) 野村峰山 ほか
- 25日 伊藤 恵 ピアノ・リサイタル
曲目：シューベルト「ピアノ・ソナタ イ長調 作品120」
ラヴェル「クーランの墓」
シューマン「幻想曲 八長調 作品17」

お問い合わせ・チケットのお申し込み先：紀尾井ホールチケットセンター
TEL 03-3237-0061 受付 10時~19時 日・祝休 <http://www.kioi-hall.or.jp>

「液体水素製造技術開発」実証設備の開所式

新日鉄は、経済産業省の水素・燃料電池実証プロジェクトの一環として、昨年より君津製鉄所に建設してきた「液体水素製造技術開発」実証設備を完成し、3月18日に開所式を行った。「液体水素製造技術開発」では、製鉄副生ガスであるコークス炉ガス（COG）から水素を精製・液化する最適システムを構築し、製造した液体水素を有明水素ステーションへ供給、その水素を用いて燃料電池自動車を走行さ

せるまでの一貫システムの実証試験を目的としている。COGから液体水素までの製造実証は、世界初の試み。平成16年度からの実証運転では高純度（99.999 vol%以上）の液体水素を1日0.2トン製造する予定。新日鉄は水素供給システム全般に関するエンジニアリング力を有しており、これらの技術力をベースに水素供給インフラ整備をハード供給面からも支え、水素社会の構築に貢献していく。



お問い合わせ先 鉄構海洋・エネルギー事業部 TEL 03-3275-6425

IR説明会開催 平成15年度業績見通し・原料概況

3月5日、本社2階ホールにおいて、約160名のアナリスト・機関投資家を対象に、当社の今年度業績見通しに関する説明会を開催。減損会計の早期適用や有利子負債残高の中期計画

前倒し達成などについて説明と質疑応答が行われた。続いて北川常務が原料概況について説明し、参加者からは「足下の原料事情について理解を深めると同時に、新日鉄の長期安定的原料

調達の手組みが良く理解できた」と好評だった。

お問い合わせ先 財務部IRグループ TEL 03-3275-5037



説明する北川常務

大形加熱炉の更新完了 使用燃料、CO₂排出量も大幅削減

3月6日、君津製鉄所で新しい大形工場の操業が開始した。当初予定した工事期間を3日間短縮しての再稼働となった。新

加熱炉は蓄熱式バーナーを採用しており、高効率な圧延と二酸化炭素の排出量の大幅削減が実現した。

新加熱炉は立ち上げ後極めて順調に移働しており、設備機能のフル発揮に向けて、一丸となって取り組んでいる。



21世紀政策研究所シンポジウム 「構造改革特区の挑戦」で広畑の取り組みを紹介

3月5日、21世紀政策研究所（田中直毅理事長）主催第34回シンポジウムで、広畑製鉄所総務部長長豊岡典保が「資源循環型社会に貢献する広畑製鉄所の取り組み」について講演した。講演では、冷鉄源溶解法（SMP）を活用したタイヤ再資源化等についての紹介を行った。



講演する広畑製鉄所・豊岡次長

平成17年度社員採用予定数

当社は、平成17年度の社員採用予定数について以下の通り決定した。

【新卒採用】	大学・高専卒	（事務）	約 40名
	大学・高専卒	（技術）	約 80名
	高卒		約180名
<合計>			<約300名>

お問い合わせ先 人事・労政部人材開発グループ TEL 03-3275-6921

スペースワールド通信

わくわくファミリーランドに 君が遊びをつくりだす『キッズクエスト』登場！ 4月10日(土) OPEN！



小学校低学年以下のお子様は「主体的に遊びを創造し、一人一人が持っている遊びのイメージを広げる場」として、新アトラクション『キッズクエスト』がオープンします！この『キッズクエスト』は、チューブスライダー（大型滑り台）「勇気の大木」、楽しい仕掛けがいっぱいの「聖者の洞窟」、広さ100㎡の迷路「古城の迷宮」、ウェーブスライダー（波状の滑り台）「友情の大河」といった4つの遊具で構成されていて、緑の多い土地でのびのびと遊んで頂けます。

お問い合わせ先
スペースワールド・インフォメーションセンター
TEL 093-672-3600
URL <http://www.spaceworld.co.jp/>

	大人(12歳~64歳)	小人(4歳~小学生)
フリーパス	3,800円	2,800円

0~3歳・65歳以上の方は無料